



未来
現在
過去

将来展望

青色申告会 概況 会組織 女性部・青年部 事業 所在地 最新情報 青色だより 関連サイト

沿革

■ [青色21ネットへ](#) ■ [マスコミ報道へ](#)

将来を見据えた公益法人、e-Taxへの取り組みを模索 ——青色21ネットワーク役職員研究集会開催



河村会長が代表幹事を務める青色21ネットワーク研究会主催の「平成19年度・青色21ネットワーク役職員研究集会」が12月21日サイプレスガーデンホテルで開催、日本たばこ産業(株)顧問の水野勝氏(元、国税庁長官・政府税制調査会委員)を始めとする来賓や全国20青色申告会の役職員など総勢約70名が参集した。

【参加会】 * 南より

北那覇会 西福岡会 松山会 広島西会 尾道会 福山会 名古屋東会 名古屋中村会 名古屋中会 昭代会 熱田会 中川会 浜松西会 浜松東会 沼津会 小田原会 湘南会 杉並会 武蔵府中会 西新井会 (20会)

まず主催者を代表して同研究会代表幹事の河村林太郎氏(中川青色申告会会長)より、「今回の研修会が各会の今後の取り組みの一助になるような実りある研究会になることを願う」などの挨拶があり、続いて来賓紹介の後、名古屋国税局の真野重信個人課税課長が来賓代表挨拶で「この研究集会での研究成果をぜひ各会に持ち帰って活用してほしい」、また、「e-Taxの普及に向けてぜひご協力を」と呼びかけた。さらに、名古屋市内会青色申告会会長の近藤弘氏(名古屋東青色申告会会長)が、地元の名物等を交えた名調子で歓迎の挨拶をした。

その後、本題の研修が次のテーマに沿って行われた(★は要旨の一部)。

【研修内容】

研修 I 「国税局のe-Tax普及作戦について」

名古屋国税局・個人課税課長補佐 伊藤 嘉浩 氏

★冒頭の「e-Taxクイズ」などひきつける題材や、「世界の電子申告利用割合」など興味深い資料を使って、案外と見落としやすい点や注意すべき点を短時間で簡潔な説明だった。例えば「確定申告での税額控除5000円は、税理士等による代理送信の場合は適用されない」、「e-Taxの際の添付書類は3年間の保存義務」、「利用時間は通常、祝日を除く月～金曜日の9:00～21:00だが、申告期を挿む1/28～3/17は24時間対応」などは押さえておきたい点である。

研修Ⅱ 「これからの青色申告会活動について」

青色21ネットワーク研究会・特別顧問 吉田 文一 氏

★現在が不透明な時代(例えば、ねじれ国会、偽装社会)であればあるほど、原点に立ち返ることが重要であると冒頭で強調し、青色の原点である「強く、正しく」「誠実経営、誠実納税」「助け合い」の精神の大切さを訴えた。最近の嬉しい話題として、[100年以上の歴史を誇る世界基準のレストランガイド「ミシュランガイド」の初の日本版「ミシュランガイド東京2008」](#)の最高ランクの三つ星（「そのために旅行する価値がある卓越した料理」）の店（全8店）に、青色申告会の会員の店（[日本料理店「濱田家」](#)）が入ったことを披露、会場からもどよめきが起った。

★さらに、ボーダーレスの時代であること、地域密着・行政との連携のために、「e-Taxの普及に乗り遅れるな」「コミュニティビジネスの展開」「公益社団法人の検討」についても言及し、特に、公益法人では「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」という点が青色申告会の公益性を考える上で重要なポイントになるが、青色申告会が個人納税者に対して広く門戸を開放し、入・脱会が自由であることから、公益性において何ら問題がないことについて、行革審からもお墨付きを得ているとの説明があり、さらに公益性を高めるための地域のニーズを把握した事業展開をと求めた。

特別記念講演 「個人課税の諸問題」

日本たばこ産業株式会社・顧問 水野 勝 氏

★個人課税と法人課税の理論と現状、稼得課税と消費課税、累進課税と比例課税、独立性所得と従属性所得等について、「国民負担率の内訳の国際比較」などのデータを用いて、分かりやすく、ただし理論的にご説明くださった。近年の税制改正の動向にも触れ、現状の税制の課題点などについてもご教示いただいた。

なお、e-Taxに関する取り組みについて、西新井青色申告会、湘南青色申告会、松山青色申告会などから説明があり、青色申告会の現場が直面する実務面の課題と打開策についても、示唆的な発表が多く、参加者から好評の声が多々聞かれたのは、本研究集会在場参加者のニーズに沿う形でますます充実してきた証と言えよう。



●ご意見・ご質問などお気軽にお寄せください。